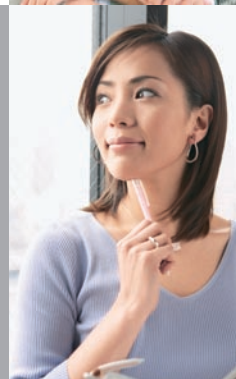


2008年度上半期

株主通信 Vol.5

2008年4月1日～2008年9月30日



ソフトバンク株式会社

www.softbank.co.jp



表紙：iPhone 3G

株主通信 Vol.5の見どころ

ついに「iPhone™ (アイフォーン) 3G」が日本に上陸しました。その魅力については5ページからの特集をご覧ください。また株主通信 Vol.4で行った株主アンケートへの多数のご回答ありがとうございました。結果は15ページをご覧ください。

お手持ちの株券はご本人名義になっていますか？

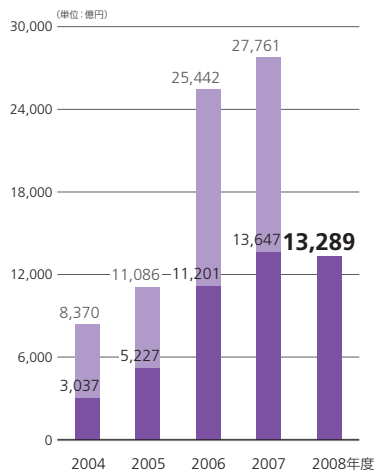
2009年1月5日(予定)より、株券の電子化が実施されます。

お手元に株券をお持ちの株主さまは、株券がご本人名義になっているかどうか必ずご確認ください。ご本人以外の名義になっている場合は、株主の権利を失う恐れがあります。

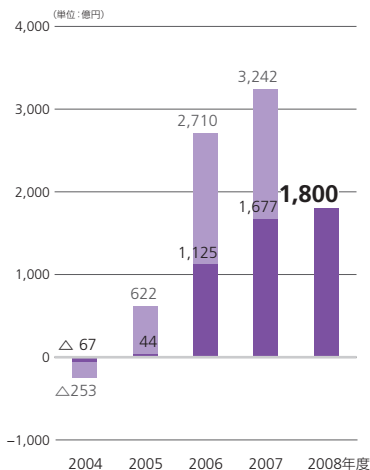
2008年度上半期業績ハイライト

- 営業利益が創業以来最高に
- 営業キャッシュ・フローが前年同期比1,767億円改善
- 通期の営業利益は3,400億円と予想

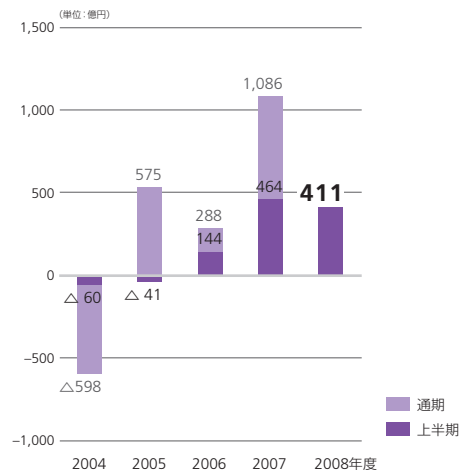
売上高



営業利益(△損失)



当期純利益(△損失)



■ 通期
■ 上半期

2008年度上半期ビジネスハイライト

4月

ソフトバンク、チャイナモバイル、ボーダフォングループの3社が、合併会社「ジョイント・イノベーション・ラボ(JIL)」の設立に合意

5月

ソフトバンク携帯電話とIP電話「BBフォン」との国内通話が24時間無料になるサービス「ホワイトコール24」を発表

6月

ソフトバンクモバイル、ヤフーがソフトバンク携帯電話向けのポータルサイト「Yahoo!ケータイ」をリニューアル

7月

ソフトバンクモバイル、iPhone 3Gを全国で発売

8月

ソフトバンクテレコム、「平成20年度優秀カスタマーサポート表彰制度」で「経営貢献賞」受賞

9月

市民参加型メディア「OhmyNews(オーマイニュース)」が「Oh! MyLife(オーマイライフ)」と名称を変え新たにスタート



「iPhone 3G」を発売したソフトバンク。それにまつわる思いと今後のビジョンを語ります。
→ 2ページへ



14年間ホークスを率いた王貞治氏が、2008年シーズン限りで勇退することになりました。
→ 9ページへ

CONTENTS

- 2 株主の皆さまへ
- 5 特集
- 8 in focus
- 10 連結財務諸表
- 12 セグメント別業績
- 15 株主アンケート結果のご報告
- 16 株主優待制度のご案内
- 17 会社概要



2009年3月期第2四半期決算説明会(2008年10月29日撮影)

株主の皆さまへ

携帯電話は「電話」を中心とした使われ方から、「インターネット」を中心とした使われ方をする「インターネットマシン」へと変ぼうを遂げようとしています。ソフトバンクは「モバイルインターネット」と「アジアインターネット」をキーワードに、新しいライフスタイルを提案するとともに、企業価値の最大化を目指します。

インターネットマシン元年の象徴、 iPhone 3G登場

われわれは2008年を境に、携帯電話が電話のための端末から、インターネットのための端末へ変化していくと考えています。そのような中、7月11日に発売したアップル社製の「iPhone™ (アイフォーン) 3G」は、お客さまより大きな反響をいただいています。斬新な外観、優れた操作感、そして何よりも既存の携帯電話の概念を覆す数々の革新的機能を持ったこの端末は、インターネット接続端末としての無限の可能性を人々に与える、「インターネットマシン元年」を象徴するモデルとなりました。

インターネットカンパニーとしてのソフトバンク

iPhone 3Gの登場は、手のひらから世界中のあらゆる情報にアクセスし、音楽、写真、ゲーム、その他さまざまな情報をポケットの中に入れて持ち運ぶ——そのような新しいライフスタイルが現実となったことを意味しています。インターネットに適した通信速度、画面の大きさ、CPUの処理能力、これらを携帯電話が獲得し、パソコンに代わってインターネット接続の中心的存在になってくると、携帯電話業界に変化が起きます。すなわち、既存の通信を事業基盤に持つ企業に代わって、インターネットを事業基盤に持つ企業が、携帯電話業界をリードしていく時代へと変わっていく——われわれはそう考えています。そしてその時代の変化を先導する企業こそ、ソフトバンクにほかなりません。ソフトバンクグループは、インフラ・ポータル・コンテンツをシームレスに提供できる、世界でも類のない企業集団だからです。

インターネットカンパニーとしての成長機会は、日本に限られたものではありません。中国を中心としたアジアにおいて、インターネット市場は目覚ましい拡大基調にあり、世界のインターネットの中心がアジアになる時代が遠からず訪れます。われわれは中国のアリババグループなどと結んだ戦略的パートナーシップを足掛かりに、アジアNo.1のインターネットカンパニーを目指しています。

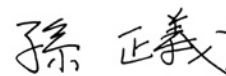
モバイルインターネット × アジアインターネット = ソフトバンクの時代

携帯電話が電話中心の“ボイスマシン”からインターネット中心の“インターネットマシン”へ、世界のインターネットの中心がアメリカからアジアへ変わっていく。われわれはそういった大きなうねりの中にいます。ソフトバンクグループは、これまでインターネットの世界で築き上げてきた経営資源やノウハウを生かすことで、この変化の時代における主導的な役割を果たし、21世紀の新しいライフスタイルを世界中の人々に提案していきたいと考えています。

ソフトバンクグループは、このビジョンと戦略を具現化することによって、収益性を一層高め、企業価値の最大化を実現していきます。株主の皆さまにおかれましては、われわれの夢と志を共有していただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2008年12月

ソフトバンク株式会社
代表取締役社長



ソフトバンクグループ経営理念

デジタル情報革命を通じて、人々が知恵と知識を共有することを推進し、
企業価値の最大化を実現するとともに人類と社会に貢献する

株主Q&A

このページでは株主の皆さまからのご質問にお答えします。

Q ボーダフォン日本法人の買収に伴う借入金を含め、多額の有利子負債があるが、返済はどのような状況か。

有利子負債の返済は順調であり、当初の想定を上回るペースで進めています。

有利子負債の大部分を占めるのは、ボーダフォン日本法人の買収に伴う借入金です。この借入金は、移動体通信事業の好調な業績により、借り入れ当初の想定よりも速いペースで返済が進んでいます。

それ以外の有利子負債については、2008年度上半期に当社が325億円の社債を償還したほか、子会社であるヤフーやソフトバンクテレコムもそれぞれの事業からのキャッシュ・フローにより順調に借入金を返済しています。

また、われわれは、今後の借入金の返済原資となるフリー・キャッシュ・フロー（営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計）について、好調な事業が生み出す営業キャッシュ・フローをベースに今後も拡大し、連結ベースで2008年度1,400億円、2009年度2,500億円とする見通しを公表しています。潤沢な手元資金（4,240億円：2008年9月末）と、拡大するフリー・キャッシュ・フローとを合わせて、今後も有利子負債の返済を着実に進めていきます。

Q 株主還元の方針を教えてください。

フリー・キャッシュ・フローを最大化し、企業価値を高めることにより、株主価値の最大化を図ることが基本方針です。

われわれは今、ダイナミックでエキサイティングな成長期にあります。

移動体通信事業では、携帯電話端末の“インターネットマシ”ン化により、モバイルインターネットへのさらなる展開が期待されます。インターネット・カルチャー事業では、モバイルインターネットに軸足を移しつつ、さらなる成長を目指しています。そして世界的にも高い経済成長率を誇るアジアにおいても、中国インターネット企業などへの投資の成功に見られるように、今後の成長が期待されています。

各事業がより一層成長していくことにより、ソフトバンクグループの創出するフリー・キャッシュ・フローが最大化し、結果として株主価値の最大化につながると考えています。

われわれの今後の成長にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集

Apple iPhone 3G

ここから始まる新しいライフスタイル

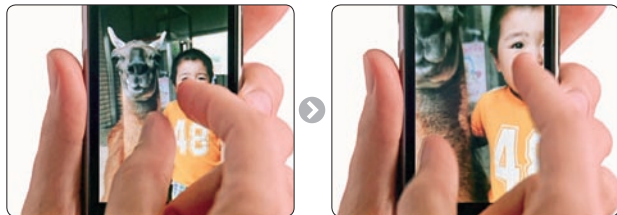


「iPhone™(アイフォン) 3G」が無数の機能や能力をあなたの指先に。
3Gによる高速無線通信、GPSと連動した地図機能、Microsoft Exchangeなどとの連動、
そして新しいApp Store(ソフトウェアポータルサイト)。
iPhone 3Gの驚くべき特長の一部をご紹介します。

life with iPhone 3G

斬新なデザイン

iPhone 3Gのデザインはまさに革命そのものです。漆塗りのような上質な光沢を放つボディに備えられたボタンはたった5つ。無駄をそぎ落とした端正な形状は、手のひらにしっかりとなじみます。



画期的なマルチタッチインターフェース

iPhone 3Gは、その大画面マルチタッチディスプレイと、革新的なソフトウェアにより、指先だけで操作することが可能です。予測変換機能付きのキーボードでスマートに文字入力、画面をはじくように写真をスクロール、あるいはCDジャケット画面をばらばらとめくっていったり、ウェブサイトの一部分を拡大・縮小したり—マルチタッチディスプレイなら指先で思いのままです。

ケータイを超えるケータイ

革新的な携帯電話、音楽やミュージックビデオをワイドスクリーンで楽しめるiPod、パソコン同様のHTMLメール・ブラウザ機能具备した最先端のインターネット通信端末、これらすべてをひとつに融合したのがiPhone 3Gです。3G高速無線通信とWi-Fi(無線通信)でインターネットへの接続も非常に快適に。



進化するケータイ

いつでも、どこでもアクセス可能なApp Store。ゲーム、教育、エンターテインメント、ファイナンス、健康&フィットネス、仕事効率化からソーシャルネットワーキングまで、多彩なカテゴリーのソフトウェアがそろっています。マルチタッチ、加速度センサー、無線通信、GPSなどiPhone 3Gが備える機能を生かしたこれらのソフトウェアには、無料でダウンロードできるものもたくさんあります。iPhone 3Gの最も革新的なポイントは、こうしたソフトウェアで自分好みにカスタマイズできること。Wi-Fiを利用すればiPhone 3Gから直接アクセス・ダウンロードしてすぐに使うことができます。

iPhone 3Gの世界がぐっと身近に

基本料金プラン「ホワイトプラン(i)」に加入した場合、月額2,324円からiPhone 3Gを楽しむことができます。

基本料金プラン

「ホワイトプラン(i)」

月額基本使用料980円(税込)/月

- ソフトバンク携帯電話、ディズニー・モバイル携帯電話へ1時から21時まで国内通話し放題
- Eメール(i) iPhone 3G専用のEメールサービス
- ホワイトプラン(i)以外の料金プランも選択可能



パケット通信料定額サービス

パケット定額フル

定額料1,029~5,985円(税込)/月

- ご利用パケット数に応じて変動する2段階定額制



インターネット接続基本料

S!ベーシックパック(i)

315円(税込)/月

©Apple, Appleのロゴ, iPodは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。App Store、iPhone、Multi-Touchは、Apple Inc.の商標です。©iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。©iPhone 3Gは単独の通信業者のサービスでのみお使いいただけるよう設定されている場合があります。©Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

ソフトバンク携帯電話の冬のラインアップ

SoftBank Winter Collection 2008のテーマは「Touch!」。デザイン、操作性、機能にこだわった先進の「インターネットマシン」が日本のモバイルインターネット時代をリードしていきます。

ソフトバンク初のカシオ製モデル、 SoftBank 830CA誕生



柔らかな輝きを放つ
美しいスリムボディー。
「持つ」「開く」「ボタンを押す」という
基本操作への徹底したこだわりと、
上品に見えるための秘密が詰まっています。

タッチパネル式モデル続々

2008年のWinter Collectionには、大画面・タッチパネル式の
ユーザーインターフェースを備えたモデルがずらりとそろいます。



SoftBank 930SC OMNIA
(サムスン電子製)
ワンセグ対応で8ギガバイトのメモリーを
装備した「フルタッチ」ケータイ。
(2008年11月下旬以降発売予定)

開発中の情報に基づいて作成したものです。実際のデザインや仕様と異なる場合があります。

AQUOSケータイ FULLTOUCH
SoftBank 931SH
(シャープ製)
「大画面」+「フルタッチ」で高機能を使
いこなす、ケータイの最高進化形。
新サービス「モバイルウイジェット」にも対応。
(2008年11月下旬以降発売予定)



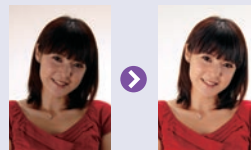
Touch Pro™
SoftBank X05HT(HTC製)
タッチパネルに加えて
フルキーボードも装備。
ビジネスシーンをスマートに変える
Windows®ケータイ。
(2008年12月下旬以降発売予定)

Touch Diamond™
SoftBank X04HT(HTC製)
前面がフラットなタッチパネル、
背面が多面ダイヤモンドカットの
斬新なデザインを持つ
Windows®ケータイ。
(2008年11月上旬以降発売予定)



FEATURE 1

5.2メガピクセル・オートフォーカスカメラは被写体の
潜在美を引き出す「美撮り」エンジン搭載。



FEATURE 2

開くたびに心が和む
個性的な画面デザインも
見逃せません。

「ホワイトコール24」ですっと話せる、 もっとたくさんの人と

ソフトバンクの携帯電話とIP電話を融合する新サービス「ホワイトコール24」がスタートしました。ホワイトプラン加入のソフトバンク携帯電話(SoftBank 3G)と、ソフトバンクグループのIP電話「BBフォン」および統合コミュニケーションサービス「BBコミュニケーター」(050番号*)との間の国内通話が24時間無料**になります。

ソフトバンクグループはグループの総合力を生かして、移動体通信と固定通信の融合を進める付加価値の高いサービスを提供してまいります。

*1. 「050」で始まるBBフォン/BBコミュニケーター専用の電話番号。

*2. 国際サービスおよびTVコール(テレビ電話)、64Kデジタル通信を除く。ソフトバンク携帯電話(ホワイトプラン)およびBBフォンなどの利用料金が別途必要です。

「ホワイトコール24」は個人契約のお客さまを対象としたサービスです。ソフトバンクモバイル株式会社が提供する「ホワイトプラン」と、ソフトバンクBB株式会社が提供する「Yahoo! BB ADSL」(または「SoftBank ブロードバンドサービス」)の両方にご加入の上、両社が提供する「ホワイトコール24」にお申し込みいただく必要があります。
「ホワイトコール24」「BBフォン」「BBコミュニケーター」の詳細は、ホワイトコール24専用サイト whcall24.softbank.jp をご覧ください。

国内通話が24時間無料!



ホワイトプラン

BBフォン
BBコミュニケーター

福岡ソフトバンクホークス 来季の復活へ向けて

王前監督・秋山新監督より株主の皆さまへメッセージ



1995年からチームを預かり、14年にわたってホークスの陣頭で指揮を執ってまいりましたが、このたび2008年シーズン限りでユニホームを脱ぎ、ホークスの監督を辞することといたしました。孫オーナーには、チームのことはすべて任せていただきましたので、オーナーにチャンピオンフラッグを手渡すというのが私の念願だったのですが、それが果たせなかったことを一番残念に思っています。

私は監督という立場は退きますが、今後もチームの第一線とは違う角度から、福岡ソフトバンクホークス強化のための活動をしていく所存です。今シーズン6位というまったく不本意な屈辱を味わったチームは、秋山監督の下でさらにたくましく、そして力強く成長し、必ずやチャンピオンフラッグをつかみ取ってくれると信じています。

本年も福岡ソフトバンクホークスを熱烈に応援いただき、誠にありがとうございました。そして、来シーズンもより一層のご声援賜りたくお願いいたします。

福岡ソフトバンクホークス監督の秋山幸二です。

チームのスローガンである「めざせ世界一」を胸に、若い選手はもちろん、中堅・ベテラン選手も含め、みんなもう一度鍛え直し、世界に通用する選手に育て上げ、日本一を奪回したいと思えます。皆さまのご声援、よろしくお願いいたします。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2008年3月31日現在)	当上半期末 (2008年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	1,582,744	1,495,851
現金及び預金	491,161	418,968
受取手形及び売掛金	887,723	895,548
有価証券	4,928	5,073
商品	58,118	57,185
繰延税金資産	105,850	91,895
その他	103,351	116,448
貸倒引当金	△68,388	△89,268
固定資産	2,973,337	2,929,091
有形固定資産	1,029,265	1,008,408
無形固定資産	1,238,309	1,248,790
投資その他の資産	705,763	671,892
繰延資産	2,818	2,068
資産合計	4,558,901	4,427,011

未払金及び未払費用

前期末比64,501百万円の減少

主にソフトバンクモバイルで設備投資の支払いを行ったことによるものです。

(単位：百万円)

	前期末 (2008年3月31日現在)	当上半期末 (2008年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	1,240,704	1,226,190
支払手形及び買掛金	187,279	151,776
短期借入金	448,571	540,597
コマーシャル・ペーパー	—	2,000
一年内償還予定の社債	52,540	20,000
未払金及び未払費用	364,450	299,949
一年内支払予定リース債務	69,770	82,586
その他	118,091	129,280
固定負債	2,469,472	2,338,342
社債	445,211	442,357
長期借入金	1,586,645	1,490,009
リース債務	241,496	254,407
その他	196,118	151,568
負債合計	3,710,176	3,564,533
純資産の部		
株主資本	307,213	345,981
資本金	187,422	187,540
新株式申込証拠金	—	259
資本剰余金	211,740	211,858
利益剰余金	△91,744	△53,466
自己株式	△206	△210
評価・換算差額等	76,529	68,136
その他有価証券評価差額金	80,914	48,310
繰延ヘッジ損益	△11,823	16,352
為替換算調整勘定	7,437	3,473
新株予約権	120	205
少数株主持分	464,862	448,154
純資産合計	848,725	862,478
負債及び純資産合計	4,558,901	4,427,011

連結損益計算書

(単位：百万円)

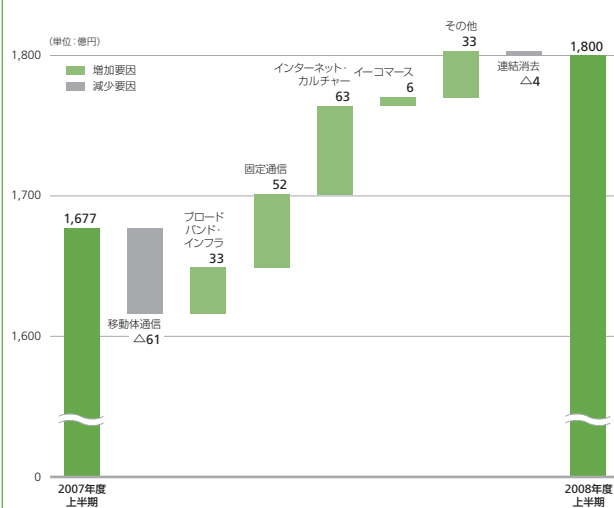
	前年同期 (2007年4月1日～ 9月30日)	当上半期 (2008年4月1日～ 9月30日)
売上高	1,364,745	1,328,998
売上原価	718,864	690,137
売上総利益	645,881	638,860
販売費及び一般管理費	478,134	458,859
営業利益	167,746	180,000
営業外収益	10,185	4,667
営業外費用	66,767	67,352
経常利益	111,165	117,315
特別利益	28,827	6,215
特別損失	17,062	8,315
税金等調整前当期純利益	122,930	115,215
法人税、住民税及び事業税	16,808	34,432
法人税等調整額	39,075	17,401
少数株主利益	20,583	22,265
当期純利益	46,462	41,115

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同期 (2007年4月1日～ 9月30日)	当上半期 (2008年4月1日～ 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	443	177,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,285	△165,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	303,526	△81,943
現金及び現金同等物の期末残高	452,771	419,186

連結営業利益の増減分析 (2007年度上半期 対 2008年度上半期)



連結業績予想

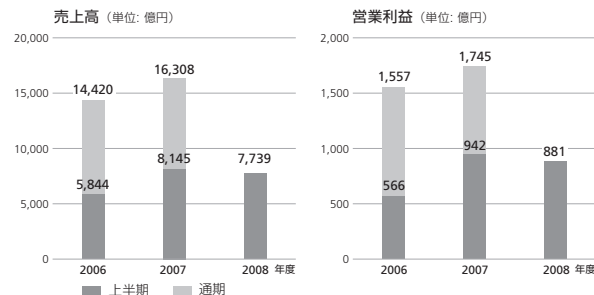
ソフトバンクグループは2009年第2四半期の連結決算概要を発表するとともに、今期と来期の営業利益や営業キャッシュ・フローなどの連結業績予想を公表しました。詳細は右表の通りです。

(単位：億円)	2007年度	2008年度(予想)	2009年度(予想)
営業利益	3,242	3,400	4,200
営業キャッシュ・フロー	1,582	4,200	5,000
投資キャッシュ・フロー (主として設備投資)	△3,224	△2,800	△2,500
フリー・キャッシュ・フロー*1	△1,642	1,400	2,500

*1. フリー・キャッシュ・フロー(FCF)=営業キャッシュ・フロー+投資キャッシュ・フロー

事業セグメント別業績

移動体通信事業



• 2006年度より移動体通信事業セグメントを新設しました。なお2006年度上半期の業績には、ソフトバンクモバイル(株)の5カ月分の業績が反映されています。

当上半期のトピック

- 月間純増数は17カ月連続首位
- 総合ARPUの減少額大幅縮小、データARPUの割合が増加

売上高は773,961百万円となり、前年同期と比較して40,548百万円(5.0%)減少しました。営業利益は88,164百万円となり、前年同期と比較して6,055百万円(6.4%)減少しました。当事業の主な事業会社のソフトバンクモバイル(株)で、携帯電話端末の販売数が減少したことにより減収となりました。営業利益は機種変更の代理店手数料などが減少したものの、減価償却費が増加したことにより、減益となりました。

ソフトバンクモバイル(株)では、2008年7月11日に発売した「iPhone™ 3G」が新たな契約獲得に寄与し、新規契約数から解約数を差し引いた月間純増数が、2007年5月から17カ月連続で首位を維持しました。当上半期末の全契約数は、前期末から104万6,900件増加し、累計で1,963万3,200件^{*1}となりました。シェアは前年同期末から1.5ポイント上昇して18.7%となりました。また月額基本使用料980円(税込み)の「ホワイトプラン」の申込件数は、2008年7月に1,400万件を突破しました。第3世代(3G)携帯電話の契約数は、全契約数の80%以上に当たる1,600万件を突破し、引き続き3G携帯電話への移行が進んでいます。なお、当社では2010年3月31日までに、第2世代携帯電話サービス(プリペイド式携帯電話を含む)を終了します。

第1四半期、第2四半期の解約率は共に0.98%となりました。また買替率は、第1四半期が1.27%、第2四半期が1.91%となりました。

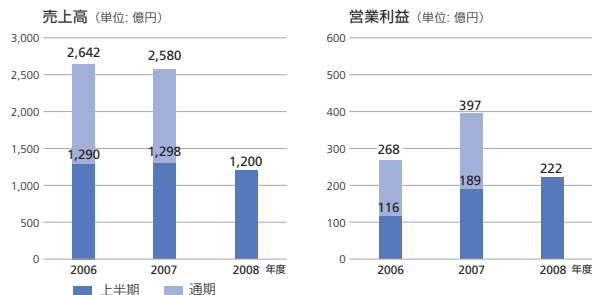
当第2四半期の総合ARPU^{*2}は4,170円となり、前年第4四半期と比較して140円減少しました。この総合ARPUの下落は、「新スーパーボーナス」加入者向けの特別割引や、月額基本使用料980円(税込み)の「ホワイトプラン」の加入件数が増加したことによるものです。また、直前四半期からの減少については10円にとどまり、減少額は著しく改善しました。一方データARPUは1,710円で、前年第4四半期と比較して110円増加し、総合ARPUに占める比率は41.1%となりました。

当第2四半期の顧客獲得手数料料平均単価は、35,500円となりました。

^{*1} ソフトバンクモバイル(株)の累計契約数には、通信モジュールの契約数が加算されています。なお当第2四半期末の通信モジュールの契約数は32,500件でした。

^{*2} Average Revenue Per User: 契約者一人当たりの平均収入。

ブロードバンド・インフラ事業



当上半期のトピック

- 「BBフォン」とソフトバンク携帯電話間の国内通話が24時間無料になる「ホワイトコール24」サービス開始

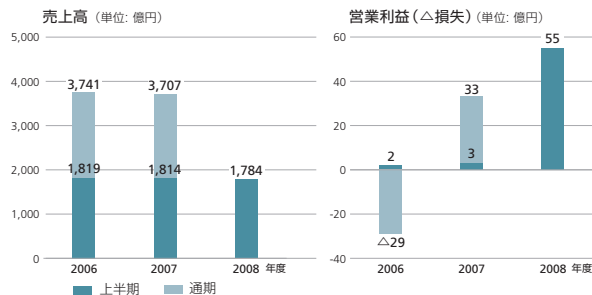
売上高は120,038百万円となり、前年同期と比較して9,780百万円(7.5%)減少しました。営業利益は22,265百万円となり、前年同期と比較して3,278百万円(17.3%)増加しました。当事業の主な事業会社のソフトバンクBB(株)のADSL事業では、累積接続回線数やARPUの減少などにより減収傾向にあるものの、通信設備の減価償却費や支払リース料などの減少により、増益基調が続いています。

ソフトバンクBB(株)の総合ブロードバンドサービス「Yahoo! BB ADSL」の、当上半期末の累積接続回線数は455万1,000回線、ユーザー支払いベースのARPUは、第1四半期が4,283円、第2四半期が4,279円となりました。

ソフトバンクBB(株)とソフトバンクモバイル(株)は、ソフトバンクグループのIP電話サービス「BBフォン(050番号)」とソフトバンク携帯電話(ホワイトプラン)との国内通話が24時間無料になる通話割引サービス「ホワイトコール24」を、2008年6月より開始しました。両社はそれぞれの販売チャネルでクロスセル*1を行うなど、グループ会社間のシナジーを創出して競争力の向上につなげていきます。

*1. ある商品を購入しようとしている顧客に対して、関連する商品や、組み合わせで使えるような商品を勧め、同時に複数の商品購入につなげることを狙う販売手法。(「ビジネス用語辞典」by Wisdom(NEC)から抜粋)

固定通信事業



当上半期のトピック

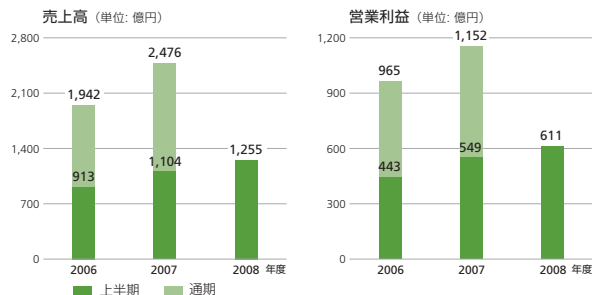
- 「おとくライン」とソフトバンク携帯電話の間の国内通話が24時間無料になる「ホワイトライン24」サービス開始

売上高は178,458百万円となり、前年同期と比較して3,014百万円(1.7%)減少しました。営業利益は5,557百万円となり、前年同期の15.9倍となりました。当事業の主な事業会社のソフトバンクテレコム(株)では、直収型固定電話サービス「おとくライン」は引き続き増収を維持しているものの、「マイライン」などの既存音声サービスの減収傾向が続いています。その一方で、継続的に固定費の削減を行うなど、経営の効率化を図ることにより、当事業の業績は前年同期以降継続して営業黒字を維持しています。

ソフトバンクテレコム(株)は、引き続き「おとくライン」を主軸に、法人ビジネス基盤を拡大しています。「おとくライン」の回線数は着実に増加しており、当上半期末の累積接続回線数は前期末から9万7,000回線増加し、149万8,000回線となりました。そのうち法人契約が占める比率は74.2%となり、引き続き上昇しています。

また同社では、2008年6月から「おとくライン」とソフトバンク携帯電話(ホワイトプラン)との国内通話が24時間無料になる通話割引サービス「ホワイトライン24」を開始するなど、移動体通信事業とのシナジーを高め、法人ビジネスの一層の強化に取り組んでいきます。

インターネット・カルチャー事業



当上半期のトピック

- 顧客基盤の拡大により売り上げ、利益とも2けた成長
- 世界初の新たな広告サービス「インタレストマッチ™」開始

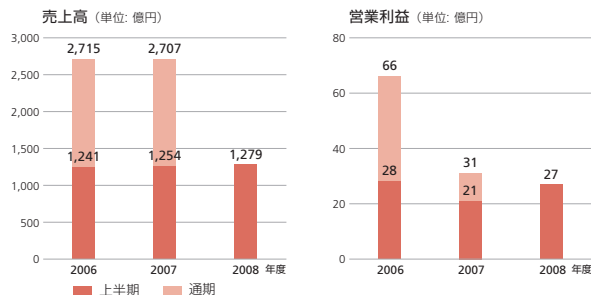
売上高は125,586百万円となり、前年同期と比較して15,166百万円(13.7%)増加しました。営業利益は61,188百万円となり、前年同期と比較して6,273百万円(11.4%)増加しました。

当事業の主な事業会社のヤフー(株)の広告事業では、ディスプレイ広告においては、行動ターゲティングやデモグラフィックターゲティングなど付加価値の高い広告商品の売り上げが、前年同期と比較して大幅に拡大するなど、堅調に推移しました。検索連動型広告はオープン化を推進した結果、ヤフーグループ以外の媒体での採用も増加し、前年同期と比較して順調に売り上げを伸ばしました。

「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」では、引き続き新規ストアの獲得に努めた結果、当上半期末のストア数は合計で3万2,652店舗となり、前年同期末と比較して3,216店舗増加し、テナント料および手数料収入も順調に推移しました。このほか「Yahoo!プレミアム」では会員の付加価値向上および入会促進に努めた結果、当上半期末のYahoo!プレミアム会員ID数は718万IDとなり、売り上げも順調に推移しました。

ヤフー(株)では世界初の新たな広告サービスとなる興味関心連動型広告「インタレストマッチ™」を9月より開始しました。

イーコマース事業



当上半期のトピック

- 「SoftBank SELECTION」が収益に寄与

売上高は127,981百万円となり、前年同期と比較して2,507百万円(2.0%)増加しました。営業利益は2,747百万円となり、前年同期と比較して646百万円(30.8%)増加しました。

当事業の主な事業会社のソフトバンクBB(株)のコマース&サービス事業では、サーバーやクライアントパソコンなどの法人向けIT機器の売り上げが堅調に推移しました。また2007年11月より開始した「SoftBank SELECTION」は、取り扱う携帯電話関連のアクセサリ数および取扱店舗数が増加し、収益に寄与し始めました。同社では今後も携帯電話関連のアクセサリ販売や、法人向け事業の強化において、当社グループの通信関連の事業とのさらなるシナジーを追求していきます。

その他の事業

売上高は46,008百万円となり、前年同期と比較して5,771百万円(11.1%)減少しました。営業利益は2,624百万円(前年同期は650百万円の営業損失)となりました。

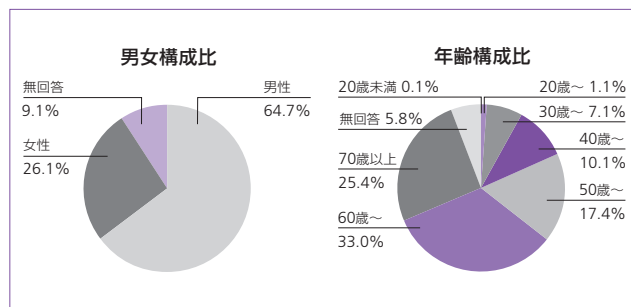
「その他の事業」には、テクノロジー・サービス事業(ソフトバンク・テクノロジー(株))、メディア・マーケティング事業(主にソフトバンク クリエイティブ(株)、アイティメディア(株))、海外ファンド事業、その他(主にTVバンク(株)、福岡ソフトバンクホークス関連事業)の業績が反映されています。

株主アンケート結果のご報告

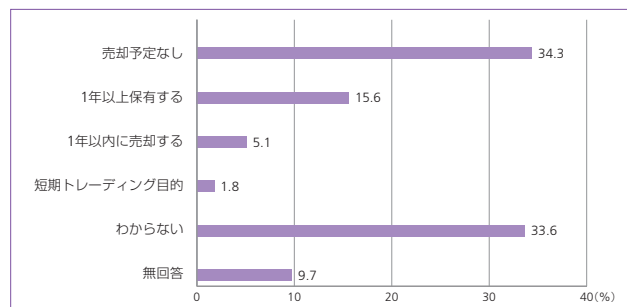
ソフトバンクは株主・投資家の皆さまに向けて、よりタイムリーで的確な情報開示を心掛け、積極的なIR(投資家向け広報)活動を展開しています。株主の皆さまの声を今後のIR活動に生かし、さらに充実したものにするため、2007年度に初めて実施した株主アンケートを、2008年度も継続して「株主通信 Vol.4」で実施しました。その結果の一部をご報告します。

アンケート実施期間：2008年6月下旬～2008年9月末日 有効回答者数：13,488人(回答率3.51%)

ご回答いただいた方の属性



当社株式の保有について、今後の予定をお聞かせください。



「株主通信 Vol.4」で興味を持たれた記事は何ですか。(複数回答可)

トップ5コンテンツ

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 連結業績ハイライト | 28.8% |
| 2 株主の皆さまへ | 24.6% |
| 3 株主優待制度のご案内 | 22.6% |
| 4 連結財務諸表 | 18.2% |
| 5 特集：2007年度のソフトバンクグループ | 16.8% |

創業以来最高水準となった2007年度の経営成績に高い関心を寄せていただきました。またそのけん引役となっている移動体通信事業に関連して、2007年度の総括と今後の戦略を語った「株主の皆さまへ」、純増数の状況や新機種などを取り上げた「特集」などにも注目していただきました。「21世紀のライフスタイル・カンパニー」を目指すソフトバンクグループの取り組みを、今後も詳しくお伝えしていきます。

「売却予定なし」「1年以上保有する」を合わせると、約半数の方が今後も一定期間継続して保有する意向でいらっしゃる事が分かります。その一方で「わからない」と回答された方も3割以上で、混迷を深める経済状況の中、当社グループの業績、有利子負債、株価などに不安をお持ちでいらっしゃる様子がうかがえます。有利子負債とその返済状況、株主還元の方針については4ページでお答えしていますので、ご覧ください。

2回目のアンケートとなる今回は、おかげさまで前回は大幅に上回る貴重なご意見をいただくことができました。中には厳しいご意見もございましたが、真摯に受け止めて今後のIR活動に生かしていきます。

ご協力ありがとうございました。

第14回株主優待制度のご案内

2008年9月30日現在、1単元(100株)以上を保有されている株主および実質株主の皆さまを対象に、「ソフトバンク携帯電話株主優待」および「Yahoo! BB株主優待」を実施します。「ソフトバンク携帯電話株主優待」と「Yahoo! BB株主優待」は、併せてご利用いただけます。

- 株主優待制度の詳細については、当社ウェブサイト内「株主優待制度」のページをご参照ください。
www.softbank.co.jp/yutai/

ソフトバンク携帯電話株主優待

優待対象者および優待内容

- ソフトバンク携帯電話を新規契約された方*1に、10,000円分の商品券をプレゼント*2
- 既にソフトバンク携帯電話をご利用で、「基本オプションパック」*3に加入済みの方は、基本オプションパック月額使用料*4を3カ月無料*5に

*1. 新スーパーボーナス用販売価格でソフトバンク携帯電話を購入された方、1回線に限ります(法人契約およびプリペイド式携帯電話は適用対象外)。

*2. 優待適用期間中に実施されている、ほかのキャンペーンとの併用はできません。

*3. 基本オプションパックは「紛失ケータイ検索サービス」「安心遠隔ロック」「迷惑メールブロック(自動設定)」「電話帳バックアップ(S)」「電話帳バックアップ」[位置ナビ]「留守番電話プラス」「割込通話」「グループ通話(旧 多者通話)」がセットになったオプションサービスパックです(ソフトバンク3G携帯電話の場合)。なおご契約内容や機種によって、ご利用いただけないサービスがあります。

*4. ソフトバンク3G携帯電話の場合498.75円(税込み)、ソフトバンク6・5・4・3・2シリーズ携帯電話の場合399円(税込み)です。

*5. 1回線につき1回限りとさせていただきます。新スーパーボーナス加入特典や、第12回ソフトバンク携帯電話株主優待の、基本オプションパック月額使用料無料特典が適用されている場合、その無料期間の終了後に適用されます(法人契約は適用対象外)。

お申し込み方法

ソフトバンク携帯電話を新規契約される場合は、同封の株主優待券を販売店へ必ずお渡しください。申し込み手続き完了後のご提示は無効となります。お申し込みいただいた翌月末以降に商品券を発送します。また既にソフトバンク携帯電話をご利用の方が、基本オプションパック月額使用料3カ月無料を利用される場合は、株主優待券(はがき)に必要な事項をご記入の上、郵送してください。

- 詳細については、同封の「株主優待ご利用説明書」をご参照ください。

受付期間

2008年12月6日～2009年5月31日(株主優待券に記載しています)

ソフトバンク携帯電話株主優待コールセンター

〈ソフトバンク携帯電話株主優待に関するお問い合わせ〉

☎ 0120-982-543

受付時間 9:00～20:00

〈ソフトバンク携帯電話に関するお問い合わせ〉

ソフトバンク携帯電話から157 / 一般電話から ☎ 0088-21-2000

オペレーターによる受付時間 9:00～20:00

Yahoo! BB株主優待

優待対象者および優待内容

- 「Yahoo! BB ADSL通常タイプ」または「Yahoo! BB ADSL電話加入権不要タイプ」を新規契約された方に、10,000円をキャッシュバック。また同時に「BBTV」(ベーシックチャンネルパック)を新規契約された場合、さらに2,000円をキャッシュバック*1
- 既に次の回線サービスをご利用で、かついずれかのオプションサービスをご利用の方に、ADSLサービス料(またはISPサービス料)相当分を割引*2

(2008年11月現在)

回線サービス (優待適用対象サービス)		オプションサービス*3	優待内容	優待金額/月額 (税込み)
Yahoo! BB ADSL	50M Revo*4	「無線LAN/パック」 「ダブル無線/パック」 「BBTV」(ベーシック チャンネル/パック) のいずれか	ADSLサービス料 相当分を割引	1,564円
SoftBank ブロードバンド ADSL	50M			1,564円
通常タイプ	26M			1,459円
電話加入権不要タイプ おとくラインタイプ	12M			1,249円
	8M			1,039円
Yahoo! BB 光 TV package	マンション ホーム		ISPサービス料 相当分を割引	1,354円 1,354円

*1. 既に「Yahoo! BB ADSL通常タイプ」または「Yahoo! BB ADSL電話加入権不要タイプ」をご利用で、「BBTV」(ベーシックチャンネル/パック)を追加申し込みされた場合は、②の優待を適用させていただきます。

*2. 保有株式数に応じて割引期間が異なります。割引期間は次の通りです。

100株以上1,000株未満保有	1カ月/半期
1,000株以上保有	3カ月/半期

*3. 回線サービスによってご利用いただけるオプションサービスが異なります。

*4. 「Yahoo! BB ADSLおとくラインタイプ」では提供しておりません。

- ※①②とも、1契約回線につき1回限りとさせていただきます。
なお①と②を併せてご利用いただくことはできません。

お申し込み方法

「Yahoo! BB ADSL」を新規契約される場合は、Yahoo! BB株主優待コールセンターへ電話でお申し込みください。また既に「Yahoo! BB」をご利用の方がADSLサービス料(またはISPサービス料)相当分の割引を利用される場合は、当社ウェブサイト内「株主優待制度」のページよりお申し込みください。

- 詳細については、同封の「株主優待ご利用説明書」をご参照ください。

受付期間

2008年12月6日～2009年5月31日(株主優待券に記載しています)

Yahoo! BB株主優待コールセンター

〈Yahoo! BB株主優待および新規申し込みに関するお問い合わせ〉

☎ 0120-989-491

受付時間 10:00～18:00(施設点検日およびメンテナンス日は休業)

会社概要

商号(社名)

ソフトバンク株式会社
(英文社名)SOFTBANK CORP.

本店所在地

東京都港区東新橋一丁目9番1号

設立年月日

1981(昭和56)年9月3日

資本金(2008年9月30日現在)

187,540,929,101円

株主数(2008年9月30日現在)

377,706名

会社が発行する株式の総数

3,600,000,000株

発行済株式総数(2008年9月30日現在)

1,080,828,378株

1単元の株式数

100株

取締役および監査役(2008年11月30日現在)

代表取締役社長 孫 正義

取締役 宮内 謙

笠井 和彦

井上 雅博

ヤフー株式会社 代表取締役社長

ロナルド・フィッシャー

SOFTBANK Holdings Inc. Director and President

ユン・マー

Alibaba Group Holding Limited

Director, Chairman of the Board and CEO

柳井 正(社外取締役)

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

村井 純(社外取締役)

慶應義塾大学 環境情報学部教授

マーク・シュワルツ(社外取締役)

MissionPoint Capital Partners, LLC Chairman

常勤監査役 佐野 光生

公認会計士

監査役 宇野 総一郎(社外監査役)

弁護士

柴山 高一(社外監査役)

公認会計士、税理士

窪川 秀一(社外監査役)

公認会計士、税理士

株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

6月

期末配当金受領株主確定日

3月31日

中間配当金受領株主確定日

9月30日

株主名簿管理人

〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711(通話料無料)
TEL: 0120-244-479(音声自動応答、用紙のご請求専用)
URL: www.tr.mufg.jp/daikou/

(取次所)

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL: www.softbank.co.jp/kokoku/

(ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)

ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋一丁目9番1号
TEL: 03-6889-2000
E-mail: sb@softbank.co.jp
www.softbank.co.jp

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。その他記載されている会社名、ロゴ、製品名およびブランド名などは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。ホワイトプラン、S!ベシックパックはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標です。本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。Copyright © 2008 SOFTBANK CORP. All Rights Reserved.

2008年12月1日発行

2009年1月5日実施予定の株券電子化に伴うお知らせ

1. 特別口座について

株券保管振替制度をご利用でない株主さまにつきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)に開設される特別口座に記録されます。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、2009年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

特別口座の口座管理機関および連絡先

口座管理機関: 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先: 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711(通話料無料)

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご留意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式

2009年1月5日(月)から1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、2008年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを2009年1月30日(金)とさせていただきます。

(2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと伺っています。

具体的な日程につきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

メールマガジン「SOFTBANK BB Mail」は、
www.softbank.co.jp/bbmail/
からお申し込みいただけます。



本誌は古紙配合率100%の再生紙と
植物性大豆油インキを使用しています。